



2015年11月13日(金)～

11月26日(木)の活動

○ 北陸新幹線合同中央要請

11月17日(火) 東京都

北陸新幹線建設促進同盟会・北陸新幹線建設促進北信越五県議会協議会・当連合会合同による中央要請活動を実施した。当連合会からは久和会長、深山副会長が参加し、富山・石川・福井県知事のほか、長野・新潟・京都・大阪府知事の代理、沿線5県議長、関西広域連合、関西経済連合会らとともに自民党二階総務会長、下村特命担当副幹事長、山本国交副大臣、岡田財務副大臣、森屋総務大臣政務官、公明党井上幹事長らに、以下の要請を行った。

【要望要旨】

- ①金沢・敦賀間について、敦賀までの更なる前倒し開業を含め、早期開業に最大限努力すること。
- ②敦賀・大阪間のフル規格による整備方針およびルート平成28年中に決定すること。
- ③これらを実現するため、平成28年度予算にいて十分な建設財源および調査費用を確保すること。
- ④沿線の自治体に過度の負担が生じないよう、負担に見合う受益の確保を図ること。
- ⑤並行在来線が存続できるよう、新たな仕組みを構築するとともに、支援施策の充実を図ること。
- ⑥公共事業費の拡充・重点配分、JRからの貸付料の活用など、幅広い観点から財源を確保すること。

(担当：前田)

○ 薬用植物・漢方薬連携会議

11月24日(火) 富山市

北海道経済連合会と北陸経済連合会が共催した連携会議を富山第一ホテルにて開催し、北海道より11市町村の首長をはじめ50名、北陸側も漢方薬メーカー、植物工場関係者、大学関係者など産学官合計74名が参加した。

現在日本の漢方薬原料は8割強を中国に依存しているが、中国内の需要増もあり近年原料価格の上昇が続いている。一方北海道は薬用植物の生産を増やしており、将来中国品の代替となりえるかなど、漢方薬に関係する産学官が参集、意見交換会を行った。

(担当：杉山)

○北経連トピックスNo.101 (H23.6.2発行分)

より当連合会HPに掲載しております。

バックナンバーのお問い合わせは青嶋まで。

(Tel.076-232-0472)

○ 北陸デスティネーションキャンペーン北陸3県食の祭典 11月21日(土) 22日(日) 福井市

北陸デスティネーションキャンペーン実行委員会(北陸経済連合会と富山・石川・福井県、富山・石川・福井各県観光連盟、JR西日本金沢支社で組織)は、福井県産業会館において「北陸3県食の祭典」を開催した。当会は、「北陸物語」をPRするブースを出展し、オープニングセレモニーには、角崎理事・事務局長が参加した。

2日間に約2万8千人が会場を訪れ、北陸3県の【美食】を堪能した。また、ステージでは、北陸3県の伝統芸能が披露された他、住みます芸人による北陸PRが行われた。(担当：小林)

○ 次世代ものづくり基盤技術展への出展

11月17日(火) 名古屋市

北陸地域企業誘致連絡会(北陸経済連合会、富山県、石川県、福井県、北陸電力で構成)は、吹上ホールにおいて開催された「次世代ものづくり基盤技術産業展」へ出展し、北陸地域での企業立地の優位性のPRを行い、アンケートによる情報収集を行った。

収集したアンケートについては、各団体で内容を確認の上、活用していく予定。また、ブース内に北陸新幹線をあしらったパネルを設置し、多くの来訪者に北陸新幹線金沢開業をPRした。(担当：小林)

○ マッチングハブ金沢2015

11月16日(月)、17日(火) 金沢市

北陸地域の産学官金連携マッチングイベントとして北陸先端科学技術大学院大学主催(北経連、北陸産業活性化センター共催)でANAクラウンプラザホテル金沢において開催された。北経連ブースでは、イノベーション推進事業部の活動を紹介するとともに、地域の食品のブランドに関するセミナーなどが行われ、多くの来場者が訪れた。(担当：平田)

お知らせ

○ 北経連「次世代ロボット研究会」講演会

北経連「次世代ロボット研究会」では、広く企業・団体の皆様を対象とする講演会を開催する。パワーアシストスーツを世界で初めて量産化したアクティブリンク株式会社から講師を招き、「パワーアシストスーツの動向」について講演いただく。

※講演会：参加費無料

○開催日時：12月17日(木)14:00～15:30

○開催場所：金沢都ホテル

詳細は<http://www.hokkeiren.gr.jp/STC/>を参照

【問合せ】イノベーション推進事業部(平田)076-265-8656